

令和3年度芦屋市立あしや市民活動センター
事業計画書

(特活) あしやNPOセンター

令和3年3月作成

令和3年度 基本方針

令和3年度における活動の基本方針として以下3つを掲げ、目標達成のためにまい進いたします。

令和2年度は、基本方針であった「**「芦屋市立あしや市民活動センター」を拠点とした市民活動支援**」「**多様なネットワークの構築**」「**伴走支援**」を目指しました。コロナ禍の中、通常通りの事業は難しく、人数制限を念頭にオンラインを導入しました。代表されるものとしては、あしや市民活動フェスタやセミナー、交流会は人数制限を施した会場参加と Zoom を導入したオンライン参加のハイブリッド開催を行いました。また、活動を実現させるための支援「Just! Do It」では2人を支援しました。1人はSDGs ファシリテーターです。人数を制限し開催回数を増やしました。2人目は書道家による「書の寺子屋」高校生を中心とした居場所でした。

令和3年度は、令和2年度の学びと体験を実践につなげ、次の3つの目標を持って活動者の増加を図ります。

・「芦屋市立あしや市民活動センター」を拠点とした市民活動支援

市民活動センターが活動支援の場となるために、SNS を利用した広報支援と、あしや市民活動フェスタ「未来をつくる芦屋たぶん100人会議」においては、地域の課題、社会貢献度の高い「コミュニティビジネス」を取り入れ、公開選考会を開き、実践支援を行います。

まずは学びの場として、コミュニティビジネスゼミナールを充実させ、企画作成したものを実践すべくフォローアップします。

・子どもに関わる活動の支援

NPO、商業、士業、行政からなる「あしや子ども笑顔ネット」では、芦人認定者を応援するツールとして紹介動画、子どもを元気にするための学びや遊びの動画を作成し配信をします。また、小中高生を対象とした神戸新聞社協働の「君も今日から新聞記者」では、リードあしやや、市民活動団体のイベント・講座などを探検したり、インタビューしたり記者として、子どもから見た大人の活動を広めています。

・伴走型支援

令和2年度から始めた「Just Do It」事業。相談は多々あり、活動を考えてはいるがどこから、何からしたらいいのか迷っている人が多いことがわかりました。令和3年度も同様に、活動が滞っている団体など、活動の助言や、他団体とをつなげるなど、活動を活性化させるための支援に取り組みます。

以上

	事業名	内容	実施時期	担当	頁
指定管理	会館業務	会議室貸、印刷機器の貸出	随時	受付担当	
		アンケート調査	年2回	全員	
		普通救命（AED）講習会	1月	二宮	
		公光分庁舎合同避難訓練	10月	二宮	
	印刷支援	機器のレクチャー&アピール	随時	高田	
		印刷全般	随時	全員	
	相談業務	NPO・ボランティア・パソコン	随時	全員	
	活動と交流会	あしや市民活動フェスタ	6月5日	二宮	1
		ふれあいカフェ	毎月1回	受付担当	
		夏休み！子どもわくわくスペシャル	8月初旬	出口	
		介護予防のための「あしや健康スクール」	9月	二宮	
		ソーシャルナイト	年6回	二宮	
	情報の収集と提供	HPデータ更新等	随時	全員	
		季刊紙発行	年4回	境田・高田	
	講座（啓発、人材・団体育成、専門等）	団体運営お助け1dayスクール	4月24日	二宮・金子	1
		コミュニティビジネスゼミナール	5月9日	二宮	2
		起業セミナー	9月	二宮	2
	調査研究	ママと子の居場所「つきいちよるごはん」	年数回	高田	
	登録団体支援	紹介冊子作成	年1回	二宮・出口	
		団体紹介チラシ等の発送&交流会	年4回	受付担当	
団体交流会&報告書支援		年4回	二宮・橋野		
人材育成	トライやる・ウィーク受入	5月6月	橋・二・出		
	君も今日から新聞記者	随時	橋野		
	スマイルボランティア	随時	出口		
参画と協働	水道部「芦屋の水」（新規）	随時	出口・高田	3	
	芦屋市各課	随時	橋野		
ボランティアコーディネート	芦屋さくらまつりVCO	4月	全員		
	あしや秋まつりVCO	10月	金子・橋野		
指定管理者会議	所管課との指定管理内容の確認	月1回	橋野・出口		
地域課題解決の仕組みづくり	あしや子ども笑顔ネット運営	年4回	橋野・二宮		
	芦人認定者動画配信（新規）	8月	橋野	3	
	専門家ネットワーク	随時	橋野・二宮		
スタッフ研修	NPO研修・外部研修	随時	橋野		
自主事業	印刷支援	輪転印刷業務運営及び支援	随時	受付	
	広報支援	ギャラリースペース活用支援	随時	受付	
	憩いの場	オープンスペースフリーカフェ	毎日	受付	
	市民活動育成	Just!do it	随時	橋野	
	CB団体支援	Leed Café 1日シェフ（再）	随時	株本	4
	参画協働	みんなで作ろう「未来のまち」～森のねんどで作ってみよう！～		株本・橋野	5
	子どもの居場所	親子スペシャルディ	8月	出口	
	広報支援	チラシ・デザイン相談室	随時	高田	6
	人材育成	あしや部	随時	橋野	
	市民交流	施設巡りスタンプラリー&あしやの火	随時	橋野・金子	7

- 1 事業名：あしや市民活動フェスタ「未来をつくる芦屋たぶん 100 人会議」
- 2 実施日：6月5日（土）13時30分～16時30分
- 3 担当：二宮
- 4 予算：50,000 円（人件費を除く）
 - 講師謝金 …………… 30,000 円（講師）
 - 広告宣伝費 …………… 10,000 円
 - 活動交通費 …………… 5,000 円
 - 消耗品費 …………… 5,000 円（茶菓等）

5 内容について

- (1) 目的：活動人口 100%のまちを目指し、コミュニティビジネスをツールとした「やりたいこと」を「できること」へ応援する。
- (2) 対象：全ての市民
- (3) 内容：第 1 部：「CB やりたいこと」のプレゼンテーション大会
第 2 部：公開選考会
第 3 部：交流会
- (4) 効果：地域の課題、社会貢献度の高い「コミュニティビジネス」を取り入れることで、身近な問題・我が事として向き合うことができ、さらに公開選考会とすることで、みんなで選んだ「やりたいこと」の応援団となり、成功する確率があがる。

-
- 1 事業名：団体運営お助け 1day スクール
「NPO 団体の事務職さん！ 今さら聞けない・・・会計税務・労務管理勉強会&交流会」
 - 2 実施日：4月24日（土）13:00～16:30
 - 3 担当：二宮・金子
 - 4 予算：支出 70,000 円（人件費を除く）収入 20,000 円
 - 謝礼金 …………… 50,000 円（30,000 円+20,000 円）
 - 消耗品費 …………… 5,000 円（CD-ROM 他）
 - 広告費 …………… 10,000 円
 - 活動交通費 …………… 5,000 円

5 内容について

- (1) 目的：事務局担当者の会計・税務・労務手続きのポイントを学ぶ機会を設ける。また、事務局担当者同士の課題の共有と解決に向けた交流会（プレゼンタイム）を設けることでの地域間、団体間連携に関しても促進する。リードあしやは中間支援としての位置づけも向上させる。
- (2) 対象：市内 NPO 団体、近隣市の NPO 団体（特に事務局担当者）

- (3) 内容：会計・税務（90分講座＋30分交流会）労務（60分講座＋30分交流会）その後、個々に総会資料作成も含めた相談時間を設ける。
参加団体には、参加資料として各種フォーマット（NPO会計ソフトを含む）を格納したCD-ROMを提供し活用してもらおう。
- (4) 効果：中間支援団体としてのリードあしやの信頼度向上。地域のNPOにとって頼りがいのある相談拠点としての確立。
-

1 事業名：コミュニティビジネスゼミナール

2 実施日：5月9日（日）・12月上旬

3 担当：二宮

4 予算：140,000円（人件費を除く）

講師謝金……………120,000円（4回×30,000円）

広告費……………10,000円

活動交通費……………5,000円

消耗品費……………5,000円

5 内容について

(1) 目的：市民活動にビジネス的手法を取り入れることにより、高齢者のみならず、より幅広い年齢層の活動人口を広げる。

(2) 対象：コミュニティビジネスに興味のある方、社会貢献、地域貢献活動をしている又は始めたいと考えている方

(3) 内容：第1回 ①コミュニティビジネスとは。コミュニティビジネスの見つけ方
②コミュニティビジネスの作り方
③コミュニティビジネスの進め方

第2回 フェスタで支援者の多かった5団体を対象としたセミナー

①会計セミナー

②運営セミナー

③広報セミナー

(4) 効果：地域の課題を解決することをミッションとし、ミッションを達成するために必要な範囲で、利益を上げ、その利益が地域社会に還元されることを実感できる。無償の社会貢献（ボランティア）とは違った喜びを味わうことができる。

1 事業名：起業セミナー（多様な組織形態）&交流会

2 実施日：9月

3 担当：二宮

4 予算：75,000円（人件費を除く）

諸謝金 ……………45,000 円 (@15,000×3 人ゲストスピーカー)
活動交通費 ……10,000 円 (ゲストスピーカー交通費)
広告宣伝費 ……10,000 円
消耗品費 ……………10,000 円 (交流会費)

5 事業詳細

- (1) 目的：市民活動、社会貢献活動の目指した起業をサポートすることにより、市民活動を促進する。
 - (2) 対象：起業を目指す、興味のある方
 - (3) 内容：多様な形態の説明（NPO 法人、一社、LLP、LLC、個人事業主など）を行い、税務面の説明も行う。起業家サポートを行っている専門家（デザイナー、IT、Web）もゲストスピーカーに呼び、サポートネットワークを構築する。交流会で参加者間での情報交換と人脈形成の機会をもつ。
 - (4) 効果：自分が求めているスキルを明確にでき、スキルアップ・人脈作りができる。市内に起業家が増えることで町が躍動する。
-

- 1 事業名：おいしいね 芦屋の水
- 2 実施日：随時
- 3 担 当：出口・高田
- 4 予 算：10,000 円（人件費を除く）
 広告費 ……………10,000 円

5 内容について

- (1) 目的：マイボトル持参の方に水道水を提供しゴミを減らすことを目的とする。水道水を提供することで芦屋の水道水は安全でおいしい水であることを周知することを目的とする。
 - (2) 対象：市民
 - (3) 内容：芦屋市水道部の協力を得て、芦屋の水道水が安全でおいしい水であることのポスターを作成し表記する。マイボトル持参の方には無償で提供する。ホット、アイス、常温にも対応する。
 - (4) 効果：ゴミの削減や安全な水の提供等を周知することで、SDGs を身近に感じてもらふことにつながる。
-

- 1 事業名：芦人認定者紹介動画配信
- 2 実施日：8 月中
- 3 担 当：橋野・二宮
- 4 予 算：370,000 円
 業務委託費 …………… 350,000 円 (動画撮影＋Web 配信作業費)

広告費 …………… 10,000 円
消耗品費 …………… 10,000 円 (SD カード等)

5 内容について

- (1) 目的：コロナ禍が続くであろう令和 3 年度を念頭に、自宅でも子どもが元気に楽しく学び遊べる動画を作成配信する。
- (2) 対象：出演「芦人認定者と小学生～高校生」
- (3) 内容：芦人認定者のスキルを元に
- (4) 効果：コロナ禍で活動の場が少なくなっている活動者と、自宅待機を余儀なくされるだろう子どもをつなぐことで、視聴者の年齢層が広がることが期待される。

指定管理 自主事業

- 1 事業名：Leed Café1 日シェフ
- 2 実施日：令和 3 年 4 月から募集開始 4 回／月（年間 36 回）
- 3 担 当：株本
- 4 予 算：85,000 円（人件費を除く）
 - 講師謝金 …………… 40,000 円 (20,000 円×2 人)
 - 消耗品費 …………… 25,000 円 (食器 20 枚他備品)
 - 印刷製本費 …………… 10,000 円
 - 広告宣伝費 …………… 10,000 円

5 事業詳細

- (1) 目的：様々な人たちをつなぐ“場”としての空間提供を目指す「Leed Cafe」
として既存の「ランチ&カフェ」を再構築する。経済的理由やコロナ
によって実現に一步踏み出せない人、地域コミュニティの活動場所づ
くりなどを応援する事を目的とする。
- (2) 対象：起業を目指している、または将来自宅でカフェをやりたい、地域コ
ミュニティをつくりたいなどの希望がある人
- (3) 内容：
 - ・募集開始：4 月～随時
 - ・説明会：5 月と 11 月（年 2 回）
希望者を募集して説明会を実地し、運営の主旨説明などを行う。
 - ・講座：利益率など経営についての講座・衛生管理についての説明
 - ・ワークショップ：メニュー決め、収支計算した結果などの発表
 - ・開催日：第 2 第 4 水曜日、第 1 第 3 土曜日
 - ・時間と料金：
2 回まで

○朝カフェ→9：00～13：00（営業時間は9：30～）利用料：1,500円

○ランチ→9：00～16：00（営業時間は11：30～）利用料：3,500円

3回目以降

○朝カフェ→9：00～13：00（営業時間は9：30～）利用料：3,000円

○ランチ→9：00～16：00（営業時間は11：30～）利用料：5,000円

・スケジュール

朝カフェ

09：00～09：30 開店準備

09：30～11：30 朝カフェ営業

11：30～12：00 後片付け すべて清掃、元の状態に戻す

12：00～ 利用人数、売上収支報告をして次につなげる

ランチ

09：00～11：30 開店準備

11：30～14：00 ランチ営業

14：00～15：00 後片付け すべて清掃、元の状態に戻す

15：00～ 利用人数、売上収支報告をして次につなげる

(4) その他

- ・備品の購入：貸出用食器購入

(ワンプレート食器、トースター、カトラリーなど)

- ・手伝いボランティア同時募集

報酬は金銭ではなく担当した日の飲食代無料とリードあしやのコーヒーチケットなどとし、リードあしやの再利用を促す。

- (5) 効果：起業や地域コミュニティの活動場所づくりを目指す人が一歩ふみだせる機会とし、さらに開催者と利用者とのつながりが今後の活動の広がりになる効果が期待される。また、それに加えリードあしやの認知を広める一環として地域の人々にカフェスペースを利用してもらう機会とする。

-
- 1 事業名：みんなでつくろう「未来のまち」～森のねんどで作ってみよう！～
 - 2 実施日：11月14日（日）13:00～16:00
 - 3 担当：株本・橋野
 - 4 予算：257,000円（人件費除く）
 - 講師謝金 ……62,000円（講師・アシスタント）
 - レンタル費 ……140,000円（ジオラマ土台+デザイン作成費等）
 - 活動交通費 ……25,000円

印刷製本費 ……20,000 円
消耗品費 ……10,000 円 (材料費等)

5 内容について

- (1) 目的：安心・安全に住み続けたいまちってどんなまちかをみんなで考える。
- (2) 対象：小学生から高齢者まで市民全般
- (3) 内容：講師に岡本さん（森のねんど作家）をお呼びし、廃材利用の木くずと森のねんどを利用した人や物を作り、自分たちが住みたい街を話し合いながら作り上げる。
- (4) 効果：物づくりを目的に協働作成することで、達成感を共有しお互いをより深く知ることができ、イザという時のつながりになる。

-
- 1 事業名：チラシデザイン相談室
 - 2 実施日：随時／予約制 9:00~16:00
 - 3 担 当：高田
 - 4 予 算：30,000 円（人件費を除く）
 広告費 ……10,000 円
 印刷製本費 ……10,000 円
 消耗品費 ……10,000 円

5 事業詳細

- (1) 目的：チラシ作成や印刷での困りごとを専門スタッフと一緒に解決する。
- (2) 対象：どなたでも
- (3) 内容：
 - ①チラシ相談（随時・予約／無料／30分）
自分たちの活動やイベントにはどんなチラシが良いのか、または、どんなツールを使ってチラシを作成するのか知りたいなど、今の状況をヒヤリングするための時間とする。
リードあしや独自で作成したチラシをまとめたものを、チラシのイメージ資料として活用、または無料のテンプレート集からイメージするものをピックアップし、ご自身で作成してもらおう。アドバイスが必要になる場合は、別日を予約してもらい有料で対応する。
 - ②チラシ作成サポート（予約制／有料）
 - ▶デザイン手直しコース
①の相談でご自身が作成されたチラシの手直し…3,000 円／時間
 - ▶デザインサポートコース
①の方法で解決できず、ご自身では作業がむずかしい場合、イメージをベースにスタッフがデザイン案を作成…5,000 円／時間

③オプション（予約制／有料 1,000 円／30 分～）

画像加工や合成、色補正、切り抜きなどの特殊な作業は、内容を確認してから作業可能か判断し対応する。

- (4) 効果：チラシデザインや簡単な画像加工に対応することにより、さらにリードあしやの印刷業務の周知につながる。
-

- 1 事業名：施設巡りスタンプラリー&あしやの火
- 2 実施日：スタンプラリー8月2日(月)～10日(火) セレモニー8月12日(木)
- 3 担当：橋野・金子
- 4 予算：20,000 円（人件費を除く 内景品代金、印刷製本費は障がい福祉課）
活動交通費 ……10,000 円（ボランティア等）
広告宣伝費 ……10,000 円

5 事業詳細

- (1) 目的：だれも取り残さない、共生のまちを目指す。第一歩として町の中の障がい者を含めた人を知ってもらう。芦屋市障がい福祉課と連携
 - (2) 対象：市民
 - (3) 内容：障がい者、高齢者等の施設をめぐるスタンプラリー
 - ・市民が参加協力をいただいた施設をめぐる
施設：玄関先にリーフレットとスタンプを設置
イベントのタイアップ
施設内見学など（できれば）
 - ・スタンプがいっぱいになったら拠点（リードあしや）で景品と交換する
景品：作業所が制作販売しているグッズを買い入れ景品とする。
企業等の協賛品（飲食店の割引券、コープ商品など）
 - ・交換所でスタンプカードにメッセージを書いていただく。
 - ・同時に「書の寺子屋」でメッセージを公募しメッセージボードを作成
 - ・8月12日精道小学校で市長、議長、教育長、施設関係者参加のもと、小規模のセレモニーを開催し、書のパフォーマンスを行い（予定）すべてのメッセージカードを燃やす。
 - ・その火をパラリンピックの火とし、兵庫県へ届ける。
 - (4) 効果：まちには様々な人材があり、様々な働き方、生き様があることを、まちを歩き、見て触れてもらうことにより、より知ってもらう。
-

令和3年度事業実施計画

NO.	公募時				年次計画内容	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		
【本来事業】						
1	施設管理の点検	消防点検 電気温水器点検 エレベーター点検 自動ドア点検 空調点検 AED点検 印刷機等の機器類点検	随時実施 随時実施 随時実施 随時実施 随時実施 随時実施 随時実施	2回 1回 4回 4回 4回 1回/2年 随時	消防点検 電気温水器点検 エレベーター点検 自動ドア点検 空調点検 AED点検 印刷機等の機器類点検	2回 1回 4回 4回 4回 1回/2年 随時
2	施設内及び敷地管理	敷地内全般の清掃	毎日	日祝以外	敷地内全般の清掃 1階天井(休館日)トイレ(朝・昼)	随時
		植栽管理	随時実施	年2回	植栽管理	年2回
		除草、散水、道具の手入れ	随時実施	年数回	除草、散水、道具の手入れ	年数回
3	備品の点検	備品台帳及び点検	4月	年1回	備品台帳及び点検	年1回
4	1(3) 利用者や広く市民を対象にアンケートを行うなど、利用者の意見や要望を反映させ、利用しやすいようにサービスの向上に努めること。	登録団体を始め、利用者全般と、市民に向かって広くアンケート調査を年4回実施し、意見、要望を反映させるよう努力しサービス向上を目指す。アンケート結果は、ホームページ及び館内に掲示する。	春秋冬	3回	アンケート調査	年3回
5	(1) 市民活動に関する相談事業 (2) 市民活動を行う団体の運営、財務等に関する相談事業 (3) 特定非営利活動法人の設立、運営、財務等に関する相談事業	相談事業 対面、電話、インターネットメールにより以下の相談を受けることを基本に、困りごとのワンストップサービスに努め、関係団体等に繋げ、ネットワークの輪を広げる。また、障がい者や高齢者の施設を含め、米館の難しい案件や、人の場合は、訪問相談を行う。 活動センター登録団体向けには、活動紹介やイベントなど広報力を高めるための支援の一つとして、わかりやすく、見やすいチラシ作成等、ITツール利用術を伝え、相談と同時に学びの場を提供する。 チラシなどの広報ツール作成の支援を行い、印刷機利用方法はもとより、チラシ作成画像ソフトを用いたアプリケーションソフト等の指導やアドバイスによって団体の広報強化に努める。	随時実施	随時	相談事業 ・個人等ボランティア活動希望の相談 ・施設、団体等からのボランティア者受け入れについての相談 ・市民活動団体の運営、財務、事業等の相談 ・NPO法人等非営利活動法人の設立運営、財務等の相談 ・市民活動団体からの労務、財務、法務に関する士業者による専門相談 ・助成金(補助金)に関する相談(受給側と給付側) ・地域のネットワークに関する相談 ・活動センター登録制度等活動センターの利用に関する相談 ・コミュニティビジネスに関する相談 ・広報のためのデザインも含めたノウハウの相談 ・その他、行政、学校園、企業からの相談	400回
6	(4) 市民活動団体の相互の交流とネットワーク支援事業 ア 市民参画協働推進のため、個人や市民活動団体、NPO等の交流を目的とした事業を実施すること	市民参画協働の推進を目的として、芦屋の町と資源としての活動する人づくりを支援するためにあしや市民活動フェスタ(「未来をつくる芦屋たぶん100人会議」等)を開催する。市内の多世代による仲間づくりを推進し、様々な活動への参加の機会を、1年を通じて伝え、携わった人々に寄り添いながら継続支援をし、翌年に活動が継続するよう繋げていく。	6月	1回	あしや市民活動フェスタ 「未来をつくる芦屋たぶん100人会議」 「コミュニティビジネスやりたいこと」プレゼンテーション大会	1回
7	(4) 市民活動団体の相互の交流とネットワーク支援事業 イ 個人や市民活動団体、NPO等の交流のために必要な仕組み(取組)を検討・実施するとともに、相互のマッチングのほか、活動に必要な知識や経験を持つ者(例:プロデューサー、デザイナー、クリエイターなど、職業としてのみだけでなく役割として担える能力を持つ者)を市民活動や地域活動のサポーターとしてコーディネーターとする取組を実施すること。	行政を含めた異業種団体の交流の場「あしや笑顔ネット」を持ち、上記のネットワーク及び、団体からの課題を別視点から考え、アイデアを創出し、それぞれのネットワークに提案をする場、もしくは次への活動の場とする。 SNSなどのICTや、グラフィックデザイナー、ウェブデザイナーなど専門家集団によるネットワークの構築を行い、団体の苦手分野を補える仕組みをつくる。市民の能力を様々な機会で見かすために個人、団体を紹介(人材発掘) 学生が自ら考え、活動する場を提供し、伴走型で支援していくネットワークチームを構築する。	随時実施	4回～6回	あしや子ども笑顔ネット	4回前後
		SNSなどのICTや、グラフィックデザイナー、ウェブデザイナーなど専門家集団によるネットワークの構築を行い、団体の苦手分野を補える仕組みをつくる。市民の能力を様々な機会で見かすために個人、団体を紹介(人材発掘)	随時実施	随時	専門家ネットワーク	随時
		学生が自ら考え、活動する場を提供し、伴走型で支援していくネットワークチームを構築する。	随時実施	随時	芦人認定	随時
		学生が自ら考え、活動する場を提供し、伴走型で支援していくネットワークチームを構築する。	1月～4月	10回	学生による芦屋さくらまつり清掃ボランティア実行委員会	※新型コロナウイルス感染拡大状況に伴うまつりの開催状況により、中止する可能性あり
		学生が自ら考え、活動する場を提供し、伴走型で支援していくネットワークチームを構築する。	随時実施	随時	防災動画多言語化作成グループ(災害時防災セミナーの一環)	随時

NO.	公募時				年次計画内容	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		
8	(4) 市民活動団体の相互の交流とネットワーク支援事業 ウ 事業実施に当たっては、施設を効果的に活用し多様な活動者との連携・協働のもと、創発・共創を生み出す仕掛けを取り入れることに努めること。	ボランティアと施設や自治会などつなぐマッチングを行う。	冬	1回	芦人認定フェスタ「あんあーと」コロナ禍のため動画配信に変更	随時
		団体の活動の場の提供として、毎月1回カフェを定期的に開催し、活動紹介および、団体間の交流を深める場とする。	毎月1回	12回	ふれあいカフェ	月1回
		活動センター登録団体の交流の場	秋	1回	紹介冊子作成	年1回
		活動センター登録団体の交流の場としては、紹介冊子作成時や、季刊紙発送時に団体のチラシを同送する機会を設け、出会いと協働事業開催に繋げる場の提供をする。	6月 9月 12月 3月	4回	団体照会チラシ等の発送&交流会 コロナ禍のため一部中止の可能性あり	年4回
9	(5) 市民参画及び協働に関する情報の収集及び提供 ア 活動センターのホームページを作成し市民活動の発信を行うこと。更新は適宜行うこと。	季刊紙等の紙媒体、ホームページ、Facebook等によるインターネットを利用した情報の発信と提供を常時行う。また、NPO団体や行政、市内施設の情報を得られるよう連携する	随時実施	随時	リードあしやホームページの更新	随時
10	イ ホームページに限らず、多様な媒体を活用して市民活動の情報を集約と発信を行うこと。特に発信に当たっては、各種メディアを効果的に活用すること。		随時実施	随時	Facebook等のSNS、ためまっぷ芦屋を利用し情報の提供	随時
11	ウ 情報発信媒体の制作及び発信を行うこと。内容は市民活動に関するもので、読み手にとって新たな気づきや学び及び活動する方の魅力発信になるものとする。また、デザイン性にも優れたものとする。		6月 9月 12月 3月	4回	季刊紙発行	年4回
12	(6)ア(ア)社会課題解決、まちづくり連続講座等	新しい情報を得ると共に活動を触発するまちづくりや、社会課題解決など人材育成のための連続講座	7月以降	3回	社会貢献のためのソーシャルナイト	各月
13	(6)ア(イ)活動のコンセプトづくり、参加意欲の高め方、魅力発信等の専門講座等	コンセプト等を視覚化するサービスデザインの学びの場を定期的に開催	6月以降	1回	起業セミナー&交流会	1回
14	(6)ア(ウ)人材・団体育成に関する講座	助成金、NPO立ち上げ・運営の専門講座(後述の「サービスデザインの学びの場」等)を開き、活動のコンセプトづくり、参加意欲の醸成、魅力の発信に繋げる伴走支援をしていく。	4月	1回	団体お助け1dayスクール「NPO団体の事務職さん! 今さら聞けない...会計・事務・労務管理勉強会&交流会」	1日
		コミュニティビジネス起業を含め、新事業などをスタートするための連続支援講座	7月以降	2回	コミュニティビジネスゼミナール	1回
		IT専門家を招き広報支援の講習会を開き、その後伴走支援をし、フォローアップする。	7月以降	1回	コミュニティビジネスゼミナール	1回
		子どもの居場所と活動の場の提供	8月	4回	夏休み! 子どもわくわくスペシャル	4日
		市内中学校のトライ・やるウィークを受け入れ、市民活動の学びの場としてのプログラムを提供し、企画案を実現するための伴走支援をする。	5月6月	3週間	トライ・やるウィークの受け入れ	3週間
		小中高生対象とした子どもボランティア育成	8月以降	7回~	芦屋発子ども新聞記者(講座+実施)	数回
		小中高生対象とした子どもボランティア育成	随時実施	随時	小学生のボランティア育成「スマイルボランティア」	随時
		ガーデンボランティアなど施設内ボランティアの育成	年数回	6回程度	リードあしやガーデンボランティア	随時

NO.	公募時				年次計画内容	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		
15	(6)イ 市民参画・協働の潮流を研究・分析するとともに社会的課題へのアプローチをして思考的要素も含めた取組	新しい情報を得ると共に活動を触発するまちづくりや、社会課題解決など人材育成のための連続講座	2か月に1回程度	6回程度	ママと子の居場所「つきいちよるごはん」	数回
		80周年事業で培った人材を活かし市民参画事業とする。	随時実施	数回	市民の企画会議(仮)	数回
16	(6)ウ コミュニティビジネスをはじめとした多様な取組の支援を行うこと。	参加者の企画の中から優秀者を決め、その企画実施までを支援するなど、参加者のモチベーションアップを図る。	年数回	数回	あしや市民活動フェスタ コミュニティビジネスやりたいことプレゼンテーション大会上位者のフォローアップ	6回
17	(6)エ 印刷機器を設置、利用支援	団体の紹介冊子及び、広報活動を効果的にするための印刷機器の利用方法を個別に指導・助言する。	随時実施	随時	機器のレクチャー&アピール	随時
			随時実施	随時	印刷機器類の設置及び利用支援	随時
18	(6)オ あしや市民活動センター登録団体に関する届出事務(新規登録、更新、実績報告)等、市の事務支援を行うこと。	活動センター登録団体の交流の場としては、紹介冊子作成時や、季刊紙発送時に団体のチラシを同送する機会を設け、出会いと協働事業開催に繋げる場の提供をする。	6月12月	3回	報告書、新規・更新登録書作成支援及び交流会	3回
19	(6)カ 本市が構成団体として協働している市内のイベント等のボランティアコーディネートを本市との協議の上、行うこと。	芦屋さくらまつりやあしや秋まつりなどの清掃ボランティアは、学生(高校生、大学生)による実行委員会を立ち上げ、市民が中心となったボランティア活動を推進する。	4月10月	2回	芦屋さくらまつり清掃ボランティアコーディネーション あしや秋まつりボランティアコーディネーション	※新型コロナウイルス感染拡大状況に伴うまつりの開催状況により、中止する可能性あり
		屋上出入口辺りにウッドデッキを敷きイベント(打ち水体験等)に一部利用し、素晴らしい芦屋の街並みを眼下に捉え、環境を守る啓発とする。			屋上を利用できないと警告されたため事業を中止	
【自主事業】						
1	9(1) 物販事業に関すること	活動者の広報支援のために輪転印刷機を利用したチラシ、活動報告書などの印刷をより安価で見やすく仕上げるための支援	随時実施	随時	輪転印刷機業務運営及び支援(チラシ・デザイン相談室含む)	随時
		活動者の打ち合わせ、事務処理、学生の勉強の場、市民の憩いの場として広く活用していただくためのオープンスペースをくつろぎやすくするために、コーヒー、紅茶、お茶がいただけるスペースを設置	開館日	開館日	オープンスペースフリーカフェ	毎日
		市民活動の拠点として、活動団体の資料、資材の置き場を確保するためのロッカー等の貸出を行う。	開館日	開館日	飲料自動販売機の設置	毎日
		機器としては、ラミネーター、プロジェクター、CDラジカセの貸出しを行う。	開館日	開館日	菓子類販売設置	毎日
2	9(2) その他の事業に関すること	活動者の活動内容を広報し、多くの市民に理解し協力していただくための掲示と、活動資金を得るための団体のオリジナルグッズを販売する場の提供	随時実施	随時	ギャラリースペース活用支援	随時
		個人や団体の相談の場から、伴走支援で掘り起こした事業や、市民活動の講師として立ち上がろうとする個人、一団体の力では運営できない講演・講座など、コミュニティビジネスを目指す個人、団体の後押しとして「まずはやってみる」を合言葉に活動センターが協働できると認められたものを事業化し、活動者の増加を目指す	随時実施	随時	Just! Do it(夢の実現)	随時
		コミュニティビジネスなどで飲食業を営もうとしている活動団体のトライの場の提供と同時に、活動センター利用者や市民の交流の場	随時実施	随時	Leed Café 1日シェフ	随時
		平時の仕組みづくりを基盤とした災害時の取り組みと多世代交流	12月	1回	みんなでつくろう「未来のまち」	1回

NO.	公募時				年次計画内容	実施回数
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		
		芦屋在住の高校生の居場所	随時実施	随時	あしや部(在住高校生の交流の場)	随時
		多世代交流の場	8月	1回	親子スペシャルディ	1回
		市民のアイデアを元に2年に1度の市民提案型イベントを開催する。初年度は自主事業で行う「パラリンピック採火式」事業を芦屋市と法人が中心となり執り行い、次年度は参加した市民の方々の意見交換会、実行委員会を作り上げ、イベントもしくは講演会を開催する。2020年度のみ事業 行政、NPO団体、学校園、社会福祉団体、他団体とのネットワークを深める。	8月		施設巡りスタンブラリー&あしやの火	10回

※本来事業・自主事業費の記載内容について

事業選定時の事業提案書、もしくは年次事業計画書に実施予定の本来事業と自主事業の**内容を全て**ご記載ください。

(事業報告書提出時には、こちらの実施計画を基に事業の実施状況をご記載いただけるように様式を改訂しております。)

令和3年度芦屋市立あしや市民活動センター予算書

収入		支出	
	金額(円)	項目	金額(円)
指定管理料	30,500,000	指定管理業務	
		人件費支出	21,320,000
		給与等	18,320,000
		社会保険料等	3,000,000
利用料収入	2,650,000	修繕費支出	100,000
会議室利用料	1,300,000	事業費	5,101,000
印刷機利用料	1,300,000	諸謝金	540,000
セミナー等受講料	50,000	ボランティア謝金	40,000
自主事業収入	2,580,000	委託費(フェスタ映像作成等)	330,000
印刷機利用料	760,000	通信運搬費	340,000
ロッカー等貸出し料	150,000	宣伝広告費	210,000
交流会等参加費	450,000	活動交通費	35,000
自己資金	1,220,000	消耗品費	790,000
		消耗什器費	150,000
		新聞図書費	15,000
		印刷製本費	700,000
		賃借料	1,420,000
		保険料	11,000
		支払手数料	20,000
		事務局費	500,000
		事務費	6,629,000
		光熱水費	1,900,000
		諸謝金(職員研修)	50,000
		委託費(ホームページ作成費)	80,000
		通信運搬費	10,000
		活動交通費	5,000
		消耗品費	250,000
		新聞図書費	10,000
		賃借料	40,000
		研修費	20,000
		保険料	79,000
		支払手数料	5,000
		一般管理費(清掃、警備)	2,230,000
		施設維持補修費	600,000
		租税公課	1,350,000
		自主事業費支出	2,580,000
		人件費	1,550,000
		講師謝金	102,000
		業務委託費	490,000
		活動交通費	10,000
		消耗品費	255,000
		印刷製本費	153,000
		賃借料	20,000
収入合計	35,730,000	支出合計	35,730,000
		収支差額	0